9インチ防水ポータブル DVD プレーヤー

AQURiO **WDV-90SW**

取扱説明書

はじめに
準備する
再生する
設定する
ワンセグ
こまったときは
仕様

ごあいさつ

お買い上げいただき、ありがとうございます。
本取扱説明書をよくお読みのうえ、安全にお使いください。
本書は、いつでも見られるところに保管してください。

TMY

もくじ

はじめに

安全上のご注意.....3
使用上のお願い.....8
免責事項に関するご注意.....8
充電池について 8
コイン形電池について.....8
AC アダプターについて.....9
液晶パネルの特長について.....9
結露について 9
防水保護規格 IPX6 について 9
防水について 10
本体に水がかかった場合 11
付属品一覧.....12
再生できるディスク・メディア.13
再生できるディスク・メディア 13
再生できるファイル.....14
デジタル放送を録画したディスク ..14
ディスク、外部メディアの取り扱い..14
DVD パッケージの表示 15

準備する

各部の名称.....16
本体.....16
リモコン.....18
電源の接続.....19
AC アダプターを使用する.....19
本体主電源スイッチについて 19
バッテリーを使用する 20
リモコンについて 21
電池の入れ方 21
リモコンの使い方 21
電池使用時の注意 21
スタンドについて 22
背面にあるスタンドについて 22
吸盤フックの取り付け方.....22

再生する

基本的な操作.....23
レンズ保護カバーの取り外し 23
ディスクの挿入と再生.....24
一時停止.....24
停止.....24
音量の調節.....25
消音.....25
コマ送り.....25
スロー再生.....25
早送り.....25
巻戻し.....25
DVD の操作 26
音声の切り換え 26
字幕の切り換え 26
チャプターのスキップ.....26
チャプターを選択して再生.....26
チャプター番号を指定して再生 26
メニュー画面へ移動.....27
くり返し再生 27
A-B 間くり返し再生 27
アングルの切り換え 27
ズームの切り換え 27
再生情報の表示 27
場面を時間で指定して再生.....28
プログラム再生 28
プログラム再生の解除.....28

CD の操作.....29
トラックのスキップ.....29
トラック番号を指定して再生 29
時間 / トラックを指定して再生 29
くり返し再生 29
A-B 間くり返し再生 29
再生情報の表示 29
プログラム再生 30
プログラム再生の解除.....30
CD を録音する.....31
CD を USB/SD へ録音.....31
録音中.....31
外部メディアを再生する 33
外部メディアの再生.....33
外部メディアの取り外し.....34
他の AV 機器と接続する.....35
他の AV 機器に出力する 35
他の AV 機器から入力する 36

設定する

一般設定 37
音声設定 38
映像設定 39
選択 40
パスワードの設定 41
パスワードモード 41
パスワードの変更 41

ワンセグ

ワンセグ放送の視聴について 42
字幕について 42
電子番組表.....42
注意.....42
地上デジタル放送の受信地域について42
ワンセグ放送を見る 43
ワンセグ視聴に必要な物.....43
アンテナを接続する 43
ワンセグを見る 43
ワンセグ設定メニュー 44

こまったときは..... 45

仕様 49

安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる方や周囲の人の危険と物的損害を未然に防ぐために、重要な事項を記載しています。本製品をお使いの前に、次の内容をよく理解して本文をお読みください。

警告 **この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。**

注意 **この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、傷害または物的損害が発生する危険性があることを示します。**

禁止事項を示します。

ご確認いただきたい情報を示します。

警告

故障の発生や異常が感じられるときはすぐに使用を中止してください

・煙が出ていたり、変なにおいがするとき
⇒すぐに電源プラグを抜き、煙が出なくなるのを確認してから弊社サポートセンターにご連絡ください
・本体の内部に水や異物が入ったとき
・落としたり、外装が破損したとき

修理・分解・改造はしないでください

・感電の原因になります。
⇒修理や点検は、弊社サポートセンターにご連絡ください

同梱された付属品以外を製品と組み合わせて使用しないでください

・火災・感電・故障の原因になります
⇒コードやアダプターは同梱品を使用してください

水まわりで使用する場合には以下のことに注意してください

・ディスクカバーロック、端子カバーロックをしっかりと閉じてください
・電源は AC アダプターではなく、内蔵充電池を使用して再生してください

⚠警告

禁止

運転者が本製品を操作するときは、車両を停止させてから行ってください

・事故の原因になります

禁止

下記場所での設置・使用はしないでください

・火災・感電の原因になります

1. 温度の高い場所・温度変化の大きい場所

⇒直射日光が当たる場所、暖房・冷房の近く、調理器具の近くなどでの設置・使用は避けてください

⇒車内に放置しないでください

2. ほこりの多い場所

⇒工場・作業場、また毛足の長いじゅうたんの上などでの使用にはご注意ください

3. 電磁波や強い磁気を発する機器等の近く

⇒電子レンジや音響スピーカーの近くは避けてください

4. 閉めきった狭い空間

⇒ガラス棚の中などで閉めきったまま使用することは避けてください

⇒布などをかぶせて使用しないでください

5. 湿度の高い場所・水気のある場所で長期の使用

⇒浴室・プールまたは加湿器の近くなどでの長期の使用は避けてください

禁止

電源コードがねじれていたり、損傷したままでの使用はしないでください

・故障・破損・発熱・溶解・感電・火災の原因になります

禁止

電源コードを束ねたままでの使用はしないでください

・ノイズの発生・故障・破損・発熱・溶解・感電・火災の原因になります

禁止

タコ足配線はしないでください

・火災・感電・故障の原因になります

⇒接続する前に、傷などがないか電源コード全体を点検してください

⇒接続する前に、電源コードは伸ばして使用してください

⇒電源コードに傷などがあったときは、弊社サポートセンターにご連絡ください

⇒電源コードを接続したあと、ねじれている箇所はないか、イスの足などがのっていないか確認してください

⇒配線・配電は、容量に合ったものを使用してください

⚠警告

電源プラグの周辺はきれいにしてご使用ください

・火災の原因になります
⇒電源プラグとその周り・電源コンセントにほこりなどが付いていたら掃除してください

本製品が長期間水にぬれている状態は避けてください
ぬれた手で本製品内部へ浸水するような操作はしないでください

・感電の原因になります
⇒雨天時、降雪時、水辺での長時間の使用は避けてください
⇒飲み物などにお気をつけください
⇒お手入れにはよく絞った雑巾などで軽くふき、液体や霧状の洗浄剤は使用しないでください

雷が発生しているときは、本体・電源コード・AV 接続ケーブルに触れないでください

・感電の原因になります

本製品のスロットや内部にものを差し込まないでください

・火災・感電・故障の原因になります
⇒ドライバー、クリップなどを差し込むのはおやめください

本製品の内部をのぞかないでください

・視力障害の原因になるおそれがあります
⇒本製品のピックアップレンズにはレーザーを使用しています

本製品ご使用の前に、本製品のリモコンで他製品が誤動作を起こさないことを確認してください

・火災・故障の原因になります
⇒とくに暖房装置などにご注意ください

航空機内で使用するときは航空会社の指示にしたがってください

・航空法で離着陸時に本機を使用することは禁止されています
指示に従わずに使用すると運行装置に影響を与えてしまい事故に繋がる恐れがあります

⚠注意

各部の「ふた」を閉めるときは手や指などを挟まないよう注意してください

・けが・故障の原因になります
・とくにお子様のいる家庭ではご注意ください

変形したディスクは使用しないでください

・けが・故障の原因になります

ひざの上に置いて使用しないでください

・低温やけど・けが・損傷の原因になります

出入り口・通路等で使用しないでください

・けが・損傷・故障の原因になります

振動の多い場所・不安定な場所では使用しないでください

・故障の原因になります

上にものを置かないでください

・故障の原因になります

液晶画面を長時間連続して見ないでください

・視力低下の原因になります

本製品に磁気カード（クレジットカード等）を近づけないでください

・磁気カードが使用できなくなるおそれがあります

液晶画面を強く押したり、衝撃を与えないでください

・故障・損傷の原因になります

液晶画面が割れた場合、内部の液体には触れないでください

⇒口に入った場合は、できるかぎり吐き出し、水で口とのどをよくすすぎ、医師の診察を受けてください
⇒目に入った場合は、水でよく洗い流し、医師の診察を受けてください
⇒皮膚や衣服に付いた場合は、アルコールで拭き取り、水洗いしてください

⚠注意

電源アダプターを抜くときは、アダプターを持って抜いてください

・コードを持って抜くと損傷の原因になります

本製品を使用しない場合は、電源から AC アダプターを抜いておいてください

・天災（落雷など）やホコリ等が原因のトラッキングなどにより
故障や火災の原因となることがあります

持ち運ぶときは次のことを守ってください

⇒電源や他の接続をすべて取り外してください
⇒ディスク、外部メディアをすべて取り外してください

ご使用の際は、音量は小さめにしてください

・大きな音量で使用を続けると聴覚障害の原因になります

イヤホンを使用するときは音量にお気をつけください

・大きな音で長時間聴きつづけると、聴覚障害の原因になります

吸盤フックを使用するときは下記のことにお気をつけください

・吸盤をしっかりと取り付けて、外れないことを確認してください
吸盤が取り付けられない凹凸のある壁面などには使用しないでください
・２個の吸盤フックを平行に張り付けて使用してください
平行でない場合は安定した取り付けができず、破損、事故の原因になります
・もし吸盤が外れて落下しても事故のない場所へ設置してください
頭上、高所、水の上などに設置すると故障、破損、事故の原因になります
・不安定な場所には設置しないでください
・吸盤が変形するなど、吸盤が正常に機能しない場合は使用しないでください

使用上のお願い

- 本製品は電気製品です。火事や感電、けがなどの事故に十分注意して使用してください。
- 本製品の使用中に、近くにあるテレビ・ラジオ・ビデオ等の機器に、画像や音声の乱れなどの悪影響が出ることがあります。その場合は離してご使用ください。
- 殺虫剤や整髪料、その他揮発性の溶剤などをかけないでください。お手入れの場合も、アルコール・シンナー・ベンジン等の溶剤は使用しないでください。
- ゴム製品やビニール製品を長時間接触させないでください。
- 長時間ご使用になると本体が熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ご使用にならないときは、本体電源を OFF にし、ディスク・メモリーカード・USB メモリーを取り外しておいてください。
- 本製品は日本国内専用です。海外などでは使用しないでください。

■ 免責事項に関するご注意

次のような場合、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

- 自然災害、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故によって生じた損害。
- お客様の故意または過失、誤用、その他通常でない条件下で使用したことによって生じた損害。
- 取扱説明書に記載された内容を守らないことによって生じた損害。
- 取扱説明書に記載されていない接続機器、部品、メディア、ソフトウェアを使用したことによって生じた損害。
- 本製品の使用または使用不能によって生じた不利益または損害（事業利益の損失、事業の中断など）。

■ 充電池について

- 使用中、充電中、保管中に異臭発熱を感じたり変色、変形その他の異常に気が付いたときはすぐに使用を中止して販売店または弊社サポートセンターへ連絡してください。
- 本製品に釘を刺したり強い衝撃を与えないでください。感電・爆発・発火の恐れがあります。
- 加熱や分解したり、火の中へ投入したりしないでください。
- 電子レンジや高圧容器に入れたり、電磁調理器の上に置かないでください。
- 充電していて所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を辞めて販売店または弊社サポートセンターまで連絡してください。
- 所定の充電時間（通常 約 5 時間）を超えて充電しないでください。充電が完了したら電源を取り外してください。
- 指定した充電方法以外で充電しないでください。
- 充電池は動作保証温度 5 ～ 40℃、水温 5 ～ 35℃の環境で使用してください。
- 内蔵充電池の取り外しや交換については、当社へご依頼ください。

■ コイン形電池について

- コイン形電池は幼児の手の届く場所には置かないでください。幼児が飲み込んだりすると、中毒などの原因になります。もし飲み込んでしまった場合は直ちに医師に相談してください。
- リモコンへは指定以外の電池を使用しないでください。
- 極性表示【＋】【－】を間違えないように使用してください。
- 充電、加熱、分解したり、火の中へ入れないでください。
- 使用期限を過ぎたり、使い切った電池をリモコンに入れておかないでください。

■ AC アダプターについて

- AC アダプターは家庭用 100V のコンセントに接続してください。
- 濡れた手で AC アダプターの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。
- 本製品に付属している AC アダプターを使用してください。
- AC アダプターを使用していると AC アダプターは熱を持ちます。
  持ち運ぶときは電源プラグを抜き、温度が下がってから行ってください。
  風通しの悪い場所で使用すると故障、事故の原因になりますのでご注意ください。

■ 液晶パネルの特長について

- 液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており 99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点（画素欠け）や周囲と異なる色が点灯したままの点（輝点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんので予めご了承ください。
- 液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像（画面焼けの様な症状）が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

■ 結露について

次のような場合には、本製品内部に水滴が生じる（結露する）可能性があります。
結露が生じたまま使用すると故障の原因になります。

- 冷たい場所にあった本製品を、暖かい場所に移動したとき。
- 室温が急に上がった、または下がったとき。
- エアコンなどの冷風が、直接本製品にあたっているとき。
- 湿度の高い場所で使用したとき。
- 結露は、本製品やディスクを傷める原因となります。結露がおきそうな場合は本製品をすぐに使用せず、2 ～ 3 時間放置した後でご使用ください。

■ 防水保護規格 IPX6 について

IEC（国際電気標準会議）によって定められている防水の保護規格です。
IPX6 は「耐水形」という種類であり、あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響を受けないという防水規格になりますので以下の事に注意してください。

- IPX6 は「完全防水」ですが「噴水流が内部へ浸水することを防ぐ」という製品です。
  本製品を水中へ沈めて操作や使用をすることはできません。
  もし水中で操作や使用をすると故障や事故の原因になります。
- 本製品の防水性能は、常温 5 ～ 35℃の真水 / 水道水のみに対応しています。石鹸水や洗剤、入浴剤の入った水、海水、プールの水、温泉、熱湯、薬品、汗などの液体をかけたり浸したりしないでください。砂や泥など汚れるようなものも付着させないでください。
- 毎分 6 リットルを超えるような強い水流や高水圧を直接かけたり、水面に落下させたり、水中に沈めたりしないでください。
- ディスクカバーや端子カバーが空いていると防水できません。
- ディスクカバーや端子カバーを開けるときに、周囲に水分や水滴などがあると内部へ浸水して故障や事故の原因になります。ディスクカバーや端子カバーを開けるときは、周囲の水分を十分に取り除いてから開けてください。
- ゴムパッキンが劣化 / 破損している状態では防水できません。
- 湿度の高い場所（約 80%以上）でディスクカバーや端子カバーを開けると、内部へ浸水したことと同様の状況になる可能性がありますのでご注意ください。

■ 防水について

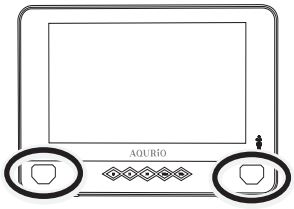
ディスクカバーや端子カバーなどをしっかりと閉じた状態の本体と付属のリモコンは IPX6 級相当の防水性能を有しています。雨や水しぶきのかかる場所でも使用できる仕様ですが、全ての状況において動作を保証するものではありません。
以下に列記する点に注意して使用してください。

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる事故、火災、故障の原因になります。
- 浴室などの水まわりで使用する場合には、AC アダプターや他機器との接続はしないでください。感電や回路のショートなどによる事故、火災、故障の原因になります。
- 本製品の防水性能は、常温 5 ～ 35℃の真水 / 水道水のみに対応しています。石鹸水や洗剤、入浴剤の入った水、海水、プールの水、温泉、熱湯、薬品、汗などの液体をかけたり浸したりしないでください。砂や泥など汚れるようなものも付着させないでください。
- 毎分 6 リットルを超えるような強い水流や高水圧を直接かけたり、水面に落下させたり、水中に沈めたりしないでください。
- 周囲温度が 5 ～ 4 0℃、湿度 80%以下の状況で使用してください。
- ディスクカバーや端子カバー、リモコンの電池フタを開閉する場合には周囲に付着している水分や汚れを十分に拭き取り、周囲に水分の無い場所にて乾いた手で開閉してください。
- 防水のための本体やリモコンのゴムパッキンについて、破損している場合は防水効果が期待できません。そのまま使用すると故障や事故の原因となりますので、こまめにゴムパッキンの状態を確認していただき、破損などが見つかりましたら水まわりで使用しないでください。
- 浴室など湿度の高い場所での保管や長時間の放置はしないでください。
- 浴室など水まわりで使用するときには、スタンドなどを使用して画面が垂直になるように設置してください。
- 吸盤フックを使用する場合には以下のことに注意してください。
  吸盤をしっかりと貼り付けて、外れないことを確認してください。
  吸盤フック 2 個は平行に取り付けて、スタンドを掛けて使用してください。
  もし吸盤が外れて落下しても事故のない場所へ設置してください。
  頭上、高所、水の上などに設置して落下すると故障、破損、事故の原因になります。
  不安定な場所には設置しないでください。
  吸盤が変形するなど、吸盤が正常に機能しない場合は使用しないでください。
- 浴室など水まわりでは USB や SD を使用しないでください。
- 本体とリモコン以外の付属品は防水機能がありません。
  水に濡れる場所では使用しないでください。
- 急な温度変化は製品内部の結露の原因になります。製品内部で結露が発生すると、ディスクが正常に再生できなくなる可能性があります。寒いところから暖かい浴室などへ本製品を持ち込むときは本製品が常温になってから持ち込んでください。
- 熱湯、熱風（ドライヤー）などが直接本製品にかからないようにしてください。
- 高温になる浴室やサウナ内では使用しないでください。
- 落下させるなど本体に強い衝撃を与えないでください。防水機能が維持できなくなる場合があります。
- 水まわりから移動するときは、隙間などに水分が溜まっている場合がありますので十分に拭き取ってください。
- ディスクカバーや端子カバーのまわりのゴムパッキンは、防水機能を維持するために重要な部品です。汚れやゴミ等の異物、キズがつかないように注意してください。汚れやゴミが付着した付着した場合は、水のかからない場所にて柔らかい布で拭き取ってください。
- 故意に水中で使用したり、ディスクカバーや端子カバーを開いた状態で使用すると内部に水が入ります。取扱説明書に記載されている項目を守らずに水が浸入したことによる故障については保証対象外となります。
- ネジなど本製品の金属部分に水分が付着したまま放置すると錆が発生してしまいます。
  水に濡れた後などには水分をよく拭き取って乾燥させてください。
- 水まわりなどで本製品を使用すると製品各部の溝に水が浸透してしまい、水の無い所へ持って行った場合でも水が滴ることがあります。本製品に水がかかったり、水まわりで使用した場合はしっかりと水分を拭き取ってから使用してください。また、水まわりで使用した後は本製品の周囲に水に弱い物（書籍や小物、携帯電話など）を置かないでください。本製品から滴った水分で事故や損害があったとしても保証致しかねますのでご注意ください。

本体に水がかかった場合

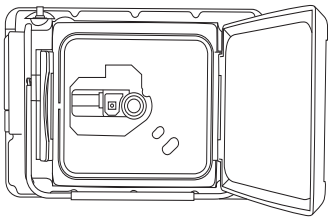
本体に水がかかった場合には、下記の箇所に注意してすぐに水滴 / 水分を拭き取ってください。そのままにしておくと防水機能が損なわれたり錆などが発生して故障などの原因になりますのでご注意ください。
水滴や水分をしっかり拭き取ったとしても、まだ本体のミゾなどに残っていることがあります。水分を嫌う物品（紙、精密機械、水分で変質する物など）の上や周辺で使用する場合には水分の漏洩、浸透などにご注意ください。

正面



スピーカーに水がかかると音量が小さくなることがあります。水分をしっかり拭き取ってください。
スピーカー部分の溝には水がたまります。
溝にある水分もしっかりと拭き取ってください。

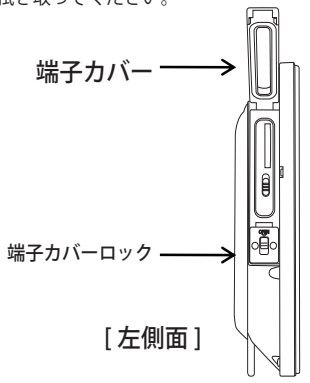
背面



ディスクカバーを開ける前に周囲の水分を拭き取ってください。ディスクカバーを開けて・ディスクカバーロック・ディスクカバーの裏側・ゴムパッキン周辺の水分をしっかりと拭き取ってください。

側面

周囲の水分をしっかり拭き取ってから端子カバーを開きます。開けたらゴムパッキン周辺の水分も拭き取ってください。

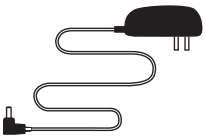


[注意] 端子カバーの閉め方

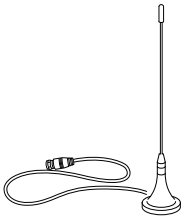
端子カバーを閉めてから、端子カバーロックが「カチッ」という音がしてしっかりロックされるまでさらに強く押し込みます。
端子カバーロックがしっかりと上にあがっていることを確認してください。

付属品一覧

本製品をご使用いただく前に、以下の内容物がすべてそろっていることをご確認ください。



ACアダプター
（電源コード）



アンテナケーブル

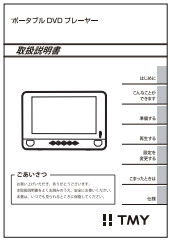
アンテナ端子
変換ケーブル

AV接続ケーブル

吸盤フック× 2
（補助シール付き）

リモコン

リモコン用コイン形電池× 1
電池フタ外し用 専用道具



取扱説明書
（本書）

保証書

※ イラストや写真などの図については実物と異なる場合があります。

※ 液晶パネルに一部点灯しなかったり常時点灯する画素が発生することがあります。また、見る角度により色や明るさにムラが生じることがありますが、製品の動作には影響ありませんのであらかじめご了承ください。

※ 同梱されているリモコン用電池（CR2025）は動作確認用です。早めに新品へ交換してください。

※ 吸盤フックの吸盤が変形している場合は、温かいお湯などで柔らかくしてから平らな場所へ張り付けておくと、変形が修正されて使用できるようになります。
吸盤が裂けるなど破損していると正常に機能しませんので使用しないでください。

再生できるディスク・メディア

再生できるディスク・メディア

本製品では、以下のディスク・メディアが再生できます。

ディスク名称、メディア名称	特徴・記録内容	ディスクのサイズ
DVD ビデオ	映画などの市販ソフト	12cm
DVD ± R/RW / ± R DL、CPRM ※	地上波デジタル、アナログ放送などを録画したディスク	
音楽用 CD	音楽などの市販のソフト	
CD-R/RW	CD-DA、MP3、JEPG、MPEG4 フォーマットで記録されたファイル	
USB メモリー	パソコンなどで保存した画像や音楽、動画ファイル	—
SD メモリーカード		

- 8cm の CD・DVD には対応していません。
- 上記のディスク・メディアであっても、本製品との相性、データの作り方によっては再生できない場合があります。
- 最新の映画 DVD 等の市販ディスクでは高度な処理を DVD 再生機器に要求するものがあり、本製品では一部再生できないものがありますのでご了承ください。

※ ファイナライズ 処理を行わないと再生できません。
詳しくはディスクに録画を行った DVD レコーダーやパソコンの取扱説明書をご覧ください。

再生できるファイル

本製品では、以下のファイルが再生できます。

ファイル形式	記録内容
MPEG4	動画＋音声
MP3	音声
JPEG	画像

- 上記のファイルであっても、本製品との相性、データの作り方によっては再生できない場合があります。
- 本製品は CPRM 方式で記録されたディスク（DVD ± R/RW / ± R DL）を再生することができます。
- CD-R/RW、DVD ± R/RW / ± R DL ディスクなどは信頼性の高い製品をご使用ください。粗悪なディスクを使用した場合は、再生が正常に行えない場合があります。

デジタル放送を録画したディスク

デジタル放送を録画したディスクを再生するときは、次のことに注意してください。

- 再生開始の際にコピー制御による認証動作が必要のため、通常のディスクより読み込みに時間がかかります。故障ではありませんので、そのままお待ちください。
- デジタル放送を録画したディスク (CPRM 方式) を本製品で再生させるには、必ず録画を行ったレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理の方法はレコーダーの説明書をお読みください。
- AVCHD、AVC Rec、HD Rec 方式で録画されたディスクには対応していません。

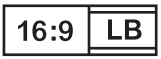
ディスク、外部メディアの取り扱い

ディスク、外部メディアの破損や機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- 変形しているディスク、割れていたりひびの入っているディスクを使用しないでください。
- シールやラベルが貼ってあるディスクを使用しないでください。
- ディスクに鉛筆やボールペンなどで書き込みをしないでください。
- ディスクをシンナー、ベンジン、アルコールなどで拭かないでください。
- ディスクの使用後はケースに収めてください。
- ディスクやメディアを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ディスクやメディアを直射日光の当たる場所や、高温になる場所に保管しないでください。

DVD パッケージの表示

DVD ディスクやパッケージには、下表のようなマークが表示されています。

マーク	名称	意味
	リージョンコード	DVD の再生可能地域を表しています。本製品ではリージョンコードが「2」または「ALL」と表記されているディスクが再生可能です。
	字幕	DVD に収録されている字幕の数を表しています。【字幕切換】ボタンまたは DVD メニュー画面で字幕を切り換えることができます。
	音声	DVD に収録されている音声トラックの数を表しています。【音声切換】ボタンまたは DVD メニュー画面で音声を切り換えることができます。
	マルチアングル	DVD に収録されているアングルの数を表しています。複数のアングルが収録されている場面では【アングル】ボタンでアングルを切り換えることができます。
	画面アスペクト	DVD に収録されている映像のアスペクト比（画面の横と縦の比）を表しています。 接続するテレビの種類にあわせて設定することができます。

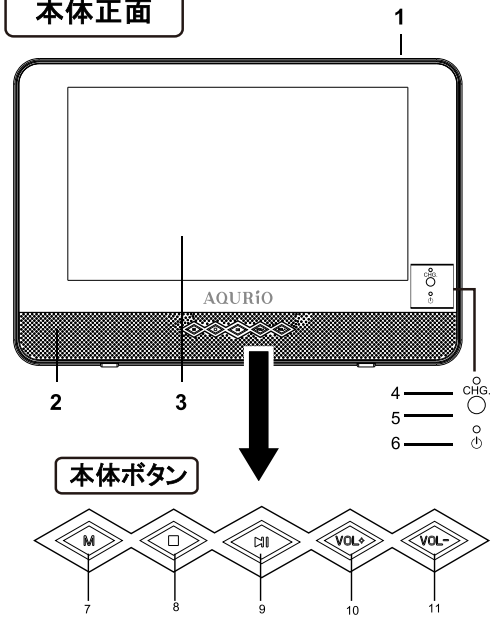
リージョンコードについて

本製品はリージョンコード「2」または「ALL」の DVD に対応するよう設計されています。
リージョンコードが異なると、その DVD は再生することができません。
上記のマークがリージョンコード「2」および「ALL」のマークですので、このマークが DVD のパッケージ裏面に記載されていることをお確かめください。

各部の名称

本体

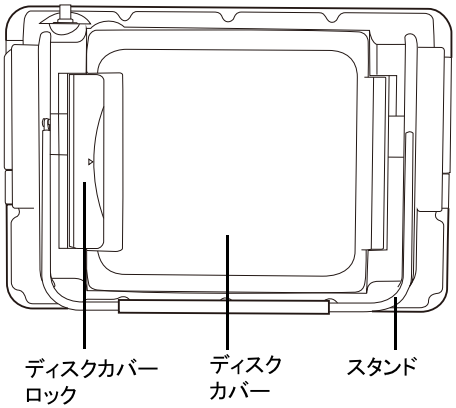
本体正面



1. アンテナ端子
2. スピーカー
3. 液晶画面
4. 充電LEDランプ
   赤点灯：充電中
   緑点灯：充電完了
5. リモコン受光部
6. 電源LEDランプ
7. 機能切換ボタン
8. 停止ボタン
9. 再生/一時停止ボタン
10. VOL＋　音量を上げます
11. VOL－　音量を下げます

本体ボタン

本体背面

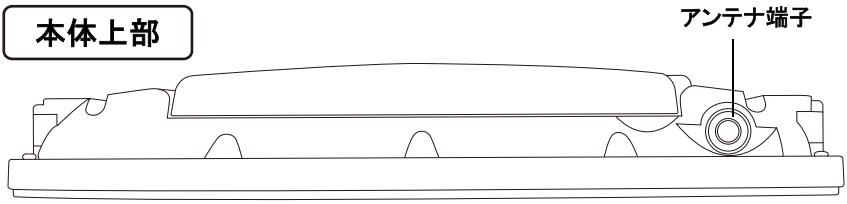


ディスクカバーを開く
ディスクカバーロックを引き上げると
ディスクカバーが開きます。

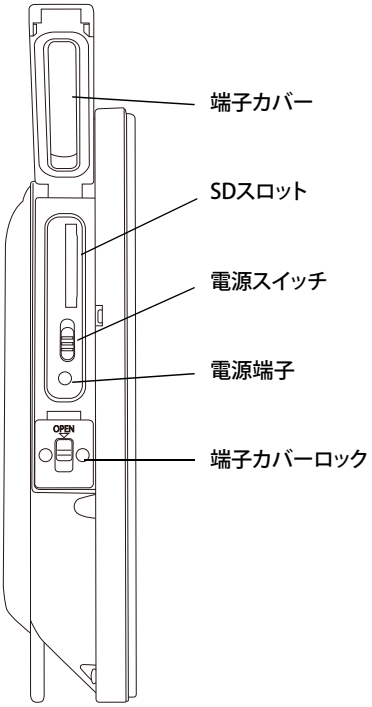
ディスクカバーを閉じる
ディスクカバーを閉じて、ディスクカバーロックを
押すと「カチッ」と音が聞こえて閉まります。

スタンド
スタンドを適度に引いて本体を立たせます。
スタンドを開きすぎると立てて使用できません。
壁に吸盤フックを取り付けた際には、スタンドを上
まで回して本製品を掛けるようにしてください。

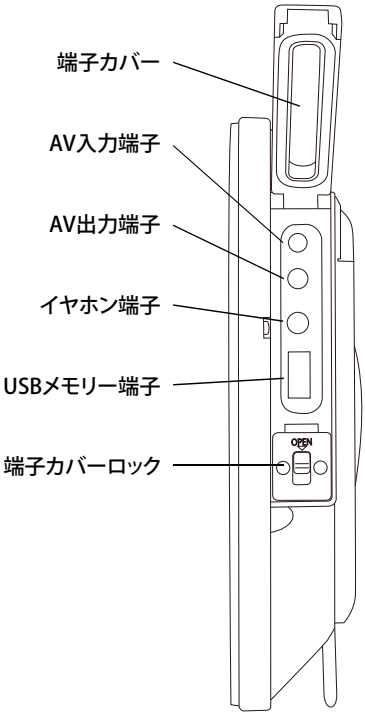
本体上部



本体側面（左側）



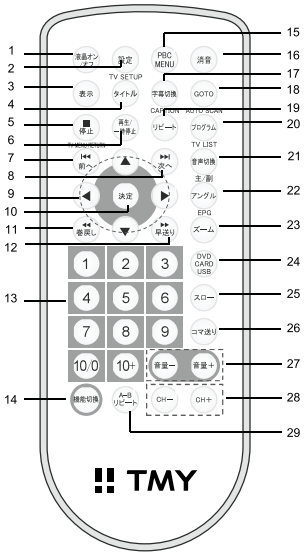
本体側面（右側）



○端子カバーを開ける：
端子カバーロックを「▽」下方向へ下ろしてください。

○端子カバーを閉じる：
端子カバーを閉じて、端子カバーロックから「カチッ」と音がするまで端子カバーを押してください。

リモコン



1. 液晶オン/オフボタン
   液晶画面をオン/オフします。
2. 設定ボタン
   各種設定メニューを表示します。
3. 表示ボタン
   情報を表示します。
4. タイトルボタン
   タイトルメニューを表示します。
5. 停止ボタン
6. 再生/一時停止ボタン
7. 前へスキップボタン
8. 次へスキップボタン
9. 方向ボタン
   項目を選択するときに使用します。
10. 決定ボタン
    設定/選択した項目を実行します。
11. 巻戻しボタン
12. 早送りボタン
13. 数字ボタン
14. 機能切換ボタン
    DVD、AV入力、TVを切り換えます。
15. PBC/MENUボタン
    ディスクメニューを表示します。
16. 消音ボタン
    一時的に音声を消します。
17. 字幕切換ボタン
    収録されている字幕を切り換えます。
18. GOTOボタン
    チャプターや時間を指定して再生します。
19. リピートボタン
    繰り返し再生を設定します。
20. プログラムボタン
    プログラム再生を設定します。
21. 音声切換ボタン
    収録されている音声を切り換えます。
22. アングルボタン
    収録されているアングルを切り換えます。
23. ズームボタン
    ズームの倍率を切り換えます。
24. DVD/CARD/USBボタン
    再生メディアを切り換えます。
25. スローボタン
    スロー再生します。
26. コマ送りボタン
    コマ送り再生します。
27. 音量ー/音量＋ボタン
28. チャンネルボタン
29. A-Bリピートボタン
    A～Bの間を繰り返し再生します。

ワンセグ視聴時に使用するボタン

2. TV SETUPボタン
   設定メニューを表示します。
5. TV MENU RETERNボタン
   １つ前の設定画面に戻ります。
9. 方向ボタン
   メニューの選択・チャンネルの選択をします。
17. CAPTIONボタン
    字幕放送表示を切り換えます。
18. AUTO SCANボタン
    チャンネルを自動検索します。
20. TV LISTボタン
    チャンネルリストを表示します。
21. 主/副ボタン
    主音声、副音声、主/副音声を切り換えます。
22. EPGボタン
    電子番組表を表示します。
28. CHー/CH＋ボタン
    ワンセグのチャンネルを切り換えます。

※数字ボタンでも一部のチャンネルへ切り換えることができます。

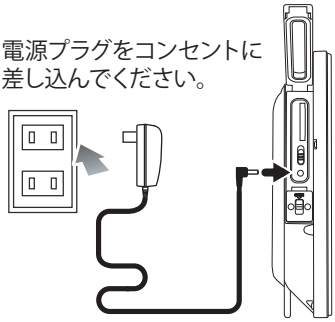
電源の接続

AC アダプターを使用する

1 AC アダプターをコンセントにしっかりと差し込みます。

2 本体側面の電源端子に同梱の AC アダプターを接続します。

3 本体の主電源スイッチを ON にします。
・本体の電源 LED が青色に点灯します。



※ AC アダプターを使用していると端子カバーを閉じることができません。
端子カバーを閉じずに使用すると、内部に水分が浸入してしまうことで故障・事故・感電などの原因になります。
水分のある場所で使用する場合には端子カバーをしっかりと閉じてください。

本体主電源スイッチについて

使用電源	主電源 ON AC アダプター 内蔵充電池	主電源 OFF
スイッチの位置		

※電源スイッチを操作した後は、
端子カバーをしっかり閉じてください。

バッテリーを使用する

本製品には充電式のバッテリーが内部に搭載されています。
充電をすることで、電源を接続していない状態でもＤＶＤなどをお楽しみいただけます。

ポイント

お買い上げいただいたときには、内蔵充電池にはほとんど充電されていない状態です。
はじめて使用される際、または画面にバッテリー残量がわずかであるという表示（ ）が出た場合にはバッテリーを充電してください。

電源がオンの状態では、オフの状態で充電するよりも充電完了までに長い時間が必要です。

付属のACアダプターを接続して充電します。

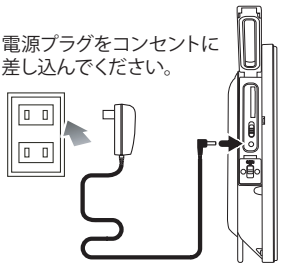
本体へ電源アダプターが接続されていると、バッテリーに充電されます。

電源をオフにした状態のほうが充電時間が短くなります。

電源オフ状態での充電：満充電まで約 5 時間

AC アダプターを接続している充電状態では
LED ランプ（赤 LED 点灯：充電中 緑 LED 点灯：充電完了）で充電状態を確認できます。

※ 充電が完了 (満充電状態) すると、充電回路への電源を切断するようになっていますが、本製品を使用していないときに充電が終りましたらアダプターを抜いてください。



バッテリーを使用して視聴します。

ACアダプターを接続していない状態で電源をオンにすると、充電池を使用して本体が起動します。

再生可能時間　DVD再生・ワンセグ視聴時：約 2 時間　再充電可能回数：約300回

※ 使用している状況や環境によって再生時間は変わります。

※ 充電池の使用可能時間が短い場合は、充電池の消耗が考えられます。そのまま使用を続けますと故障・破損・液漏れなどの原因になりますので、弊社サポートセンターまでご相談ください。

※ リチウム充電池は過放電してしまうと再充電ができなくなります。 1ヶ月に 1 度は充電してください。
充電池を使い切った状態で放置すると過放電状態になりやすくなります。
できるだ け充電している状態を保つようにしてください。

※ AC アダプターに接続したまま電源オフにしておくと、充放電を細かく繰り返すことになり、結果として充電池の寿命が短くなります。
本製品を使用しない場合は、充電が終りましたら AC アダプターを取り外してください。

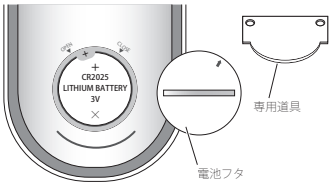
リモコンについて

電池の入れ方

1 **電池フタを取り外します。**
リモコン裏側の電池フタを専用道具で外します。

2 **電池を入れます。**
⊕⊖を正しく入れてください。

3 **電池フタを閉じます。**
電池フタを「OPEN」に向けて取り付けます。
専用道具で電池フタを「CLOSE」まで閉めます。

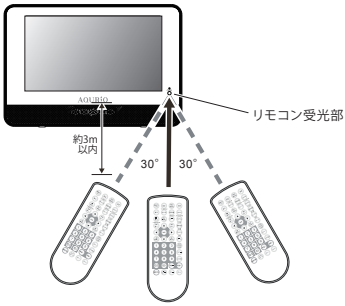


※ 同梱されている電池は動作確認用です。使用する場合には新しい電池を用意してください。
※ 下記「電池使用時の注意」も合わせてお読みください。
※ 電池フタについているゴムパッキンは防水のために必ず取り付けた状態で使用してください。

リモコンの使い方

リモコンを使用する際は、本体受光部から約 3m 以内、上下左右に各 30 度以内の範囲から操作するようにしてください。
リモコンの発信部とリモコン受光部の間に信号を遮るものがないようにしてください。

受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンが正常に作動しない場合があります。その場合は、光が当たらないようにする、リモコンの角度を変える、受光部に近づけて操作するなどしてください。



電池使用時の注意

電池の使用にあたっては、次の注意事項を守ってください。

・電池を正しく使用しないと液漏れを起こしたり、破裂したりする可能性があります。

使用可能電池　リモコン：CR2025 3V コイン形リチウム電池×1個

⇒本製品に電池を入れるときは、プラスとマイナスを正しく入れてください。

⇒古い電池や種類の違う電池（大きさや厚みの異なる物など）を使用しないでください。

⇒使用済みの電池や有効期限切れの電池を使用しないでください。

⇒電池が切れたらすぐに交換してください。消耗した電池を入れたままにしておくと、液漏れの原因となります。

⇒電池が液漏れを起こしたら、液に触れないよう注意してすぐに廃棄してください。
新しい電池を入れる前に必ず電池ボックス内部に付いた液をよく拭き取ってください。

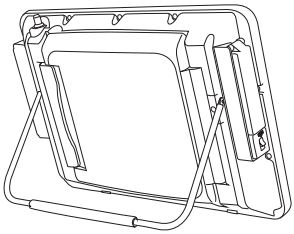
⇒長期にわたって保管する場合は、電池を取り外してください。

⇒破棄する場合にはビニールテープやセロテープを＋ / －面を覆うように巻きつけ、確実に絶縁してください。破棄方法についてはお住まいの地域の破棄方法に従ってください。

スタンドについて

背面にあるスタンドについて

スタンドを適度に引き出して、本製品が安定するように使用してください。
使用に適した角度は約３０°です。



ポイント

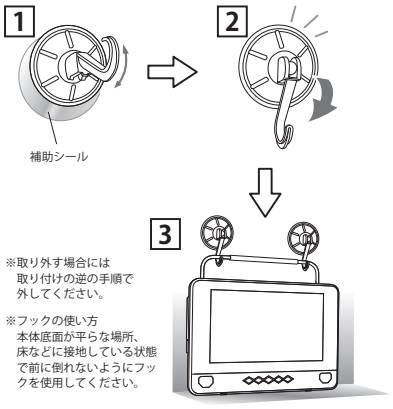
安定した場所でお使いください。
スタンドを持って振り回さないでください。
スタンドに強い力を加えないでください。
破損することで故障や事故の原因になります。
周囲に水分がある時に稼動させないでください。
スタンド取り付け部より浸水することがあります。

吸盤フックの取り付け方

1 **吸盤フックのロックをはずしてください。**
ロックが外れていると右図のようにフックが自由に動きます。

2 **吸着面へ吸盤フック2個を貼り付け、ロックレバーを下へ倒します。**
ロックレバーを倒すことで吸盤内の空気が抜けて吸着します。

3 **背面にあるスタンドを上まで回して吸盤フックへ掛けます。**



※取り外す場合には取り付けの逆の手順で外してください。

※フックの使い方
本体底面が平らな場所、床などに接地している状態で前に倒れないようにフックを使用してください。

ポイント

しっかりと吸盤を貼り付けられる場所にて使用してください。
吸盤がしっかりと貼り付いていることを確認して使用してください。
吸盤を取り付ける壁面がザラザラしている等、うまく吸盤を取り付けられない場合は補助シールを使用してください。
補助シールの粘着面を壁面に貼り付けて、その上に吸盤フックを吸着させるように使用してください。
補助シールの粘着面について、一度貼り付けて使用すると粘着度が低下します。剥がした補助シールは再利用できませんのでご了承ください。
長期間補助シールを壁面に貼り付けておくと変質・劣化しますので使用時にはご注意ください。
吸盤フックは必ず２個で使用してください。１個では使用しないでください。
２個の吸盤フックは平行に、２個の間隔が約 18cm になるように貼り付けて使用してください。
フック部分が真下になるように取り付けてください。フックが横になると正常に機能せずに転倒・落下します。
地面との角度が 85°～ 95°の壁面で使用してください。これ以上角度の付いた壁面で使用すると吸盤やフックのロックが外れて転倒・落下する可能性があります。
吸盤の接着面がきれいな状態で使用してください。
吸盤に少量の水分を付着させると瞬間的な吸着力は上がりますが、吸盤の能力低下を招いたり、吸盤が滑ってしまうことで滑落・落下による破損や事故の原因になることがありますのでご注意ください。
高いところや不安定な場所、下が水まわりなど落下することで故障、破損、事故になる可能性のある場所では使用しないでください。
吸盤が変形している場合には、吸盤を少し暖めてから吸着させるなど変形を修正してください。
吸盤を長期間吸着させると、変色、変形、破損することがありますのでご注意ください。
吸盤は消耗品です。長期間の使用や過酷な条件下では吸着力が衰えます。吸着力の無くなった吸盤を使用すると事故の原因となりますので使用をお止めください。
市販の吸盤フックは使用しないでください。
本製品をご使用にならないときは、安全のためにフックから外して保管してください。
取扱説明書に記載している吸盤フックのご利用方法と異なる使い方をして落下などによる破損や事故が発生した場合には、保証できない場合がありますのでご注意ください。

基本的な操作

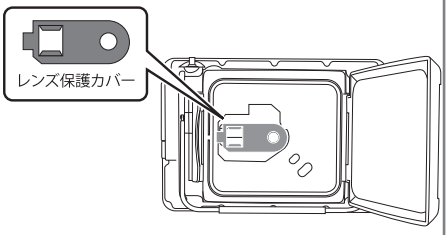
はじめてお使いになるときは、下記の要領でレンズ保護カバーを取り外してください。
その後、19 ページの「電源の接続」をご覧ください。

レンズ保護カバーの取り外し

ポイント

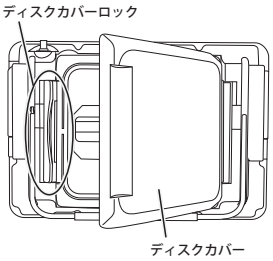
本製品にはピックアップレンズの保護を目的として「レンズ保護カバー」が装着されています。ご使用いただく前に必ずレンズ保護カバーを取り除いてください。装着したまま電源を入れた場合、故障やお客様のディスクを破損させる原因となります。

※ レンズ保護カバーの形状はイラストと異なる場合がございます。

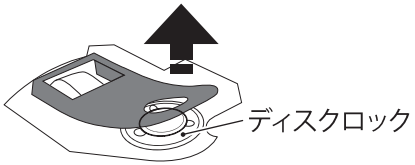


1 **本体のディスクカバーロックを引き上げます。**

ディスクカバーが開きます。

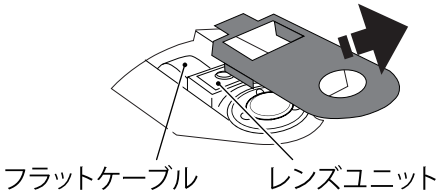


2 **ディスクロックからレンズ保護カバーを上方向へ外します。**

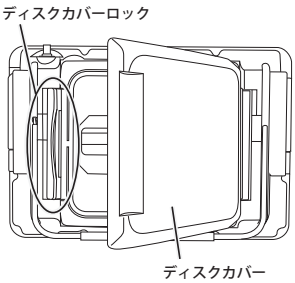


3 **レンズ保護カバーをゆっくりと矢印の方向へ取り去ります。**

レンズユニットやフラットケーブルを傷つけないように十分注意してください。



ディスクの挿入と再生



1 本体のディスクカバーロックを引き上げます。

ディスクカバーが開きます。

2 ディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を上にして、中央のディスクロックにカチッと音がするまではめ込みます。
※強く押し込まないでください。故障や破損の原因になります。

3 ディスクカバーを閉めます。

ディスクカバーを閉めてディスクカバーロックを押し込むように閉じると、
画面に【読込み中】と表示されて、自動的に再生が始まります。（再生まで約 20 秒～ 90 秒）

ポイント

- 一部のディスクでは、自動で再生がはじまらないものがあります。
  【再生 / 一時停止】ボタンや【決定】ボタンを押すと再生が始まります。
- メニュー画面から再生がはじまる DVD の場合は【PBC/MENU】ボタンを押すとメニュー画面が表示されますので、方向ボタンで項目を選択して【決定】ボタンを押してください。
- DVD、CD に共通の基本的な操作については、下記からご覧ください。
- DVD のみの操作については、26 ページからご覧ください。
- CD のみの操作については、29 ページをご覧ください。

一時停止

再生中に【一時停止】ボタンを押します。
再生が一時停止します。
もう一度【再生 / 一時停止】ボタンを押すと、
再生が始まります。

停止

再生中に【停止】ボタンを押します。
再生が停止し、画面に「再生キーを押し、継続。」と表示されます。

- 停止した場面からもう一度再生する場合は【再生】ボタンを押します。
- 再生を終了する場合は、もう一度【停止】ボタンを押します。

音量の調整

音量ボタンで音量調整ができます。
０～２０の間で音量調整ができます。

消音

【消音】ボタンを押します。
音声が消え、画面に「消音」と表示されます。
消音前の音量に戻すには、もう一度【消音】ボタンを押します。（「消音オフ」と表示されます。）

コマ送り

再生中に【コマ送り】ボタンを押します。
再生が停止し、【コマ送り】ボタンを押すたびに画面が進みます。
・通常再生に戻る場合は【再生】ボタンを押します。

スロー再生

再生中に【スロー】ボタンを押します。
押すたびにスロー再生速度が切り換わります。
現在のスロー再生速度が画面に表示されます。

スロー送り再生
再生 → 1/2 → 1/4 → 1/8 → 1/16
1/16 ← 1/8 ← 1/4 ← 1/2
スロー戻り再生

スロー再生中に【再生】ボタンを押すと通常再生に戻ります。

早送り

再生中に【早送り】ボタンを押します。
・通常再生の 2 倍の速度（2 倍速）で早送り再生が開始して画面に「▶▶ 2x」と表示されます。
・通常の再生に戻すには【再生】ボタンを押します。
・2 倍速で早送り中にもう一度【早送り】ボタンを押すと、画面に「▶▶ 4x」と表示され、4 倍の速度で早送り再生されます。
【早送り】ボタンを押すごとに早送り速度が増し、最大 32 倍速で早送り再生ができます。
・32 倍速で早送り中にもう一度【早送り】ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

巻戻し

再生中に【巻戻し】ボタンを押します。
・通常再生の 2 倍の速度（2 倍速）で巻戻し再生が開始して、画面に「◀◀ 2x」と表示されます。
・通常の再生に戻すには【再生】ボタンを押します。
・2 倍速で巻戻し中にもう一度【巻戻し】ボタンを押すと、画面に「◀◀ 4x」と表示され、4 倍の速度で巻戻し再生されます。
【巻戻し】ボタンを押すごとに巻戻し速度が増し、最大 32 倍速で巻戻し再生ができます。
・32 倍速で巻戻し中にもう一度【巻戻し】ボタンを押すと、通常再生に戻ります。

DVD の操作

音声の切り換え

再生中に【音声切換】ボタンを押します。

音声チャンネルが切り換わり、再生している音声チャンネル名が画面に表示されます。

- 表示は約 5 秒後に消えます。
- 3 種類以上の音声チャンネルが収録されている場合は、【音声切換】ボタンを何度か押して再生したい音声チャンネルに切り換えてください。
- 音声切り換えに対応していない DVD では、操作は無効となります。
- 一部の DVD では、タイトル画面またはメニュー画面から音声を切り換えてください。

字幕の切り換え

再生中に【字幕切換】ボタンを押します。

字幕チャンネルが切り換わり、再生している字幕チャンネル名（または [字幕オフ]）が画面に表示されます。

- 表示は約 5 秒後に消えます。
- 3 種類以上の字幕チャンネルが収録されている場合は、【字幕切換】ボタンを何度か押して表示したい字幕チャンネルに切り換えてください。
- 字幕切り換えに対応していない DVD では、操作は無効となります。
- 一部の DVD では、タイトル画面またはメニュー画面から字幕を切り換えてください。

チャプターのスキップ

再生中に【次へ】ボタンを押します。

再生画面（シーン）が 1 つ先のチャプターに移動します。

再生中に【前へ】ボタンを押します。

再生画面（シーン）が 1 つ前のチャプターに移動します。

チャプターを選択して再生

1 **再生中に【PBC/MENU】ボタンを押します。**
DVD のメニュー画面が表示されます。

2 **方向ボタンを使って [チャプター] を選択して【決定】ボタンを押します。**
チャプターの選択画面が表示されます。

3 **方向ボタンを使って再生を始めたい [チャプター] を選択後【決定】ボタンを押します。**
選択したチャプターから再生が始まります。

ポイント

チャプターを選択して再生する操作は、DVD によって異なります。
ここでは、DVD のメニュー画面から選択する操作を説明しています。

チャプター番号を指定して再生

再生中に数字ボタンを使って
移動したいチャプター番号を指定します。

選択したチャプターから再生が始まります。

ポイント

- 「11」以上のチャプター番号を指定したい場合は、【10+】ボタンを使います。
- 入力例：

「14」を選ぶ場合→【10+】【4】と押します。
「24」を選ぶ場合→【10+】【10+】【4】と押します。
「20」を選ぶ場合→【10+】【10+】【0/10】と押します。

- 再生中の DVD にないチャプター番号を指定した場合は、操作が無効となります。

メニュー画面へ移動

再生中に【PBC/MENU】ボタンを押します。

DVD のメニュー画面が表示されます。

ポイント

- 映画などを見ている途中に、ボタンひとつでメニュー画面へ移動します。
- 一部の DVD では【タイトル】ボタンを押しタイトル画面を表示して、各種メニューを選択するものがあります。

くり返し再生

再生中に【リピート】ボタンを押します。

くり返し再生の方法が切り換わり、現在の状態が画面に表示されます。【リピート】ボタンを押すたびに、表示は次のように切り換わります。

チャプター	現在のチャプターをくり返して再生します。
↓	
タイトル	現在のタイトルをくり返して再生します。
↓	
オール	すべてのタイトルをくり返して再生します。
↓	
オフ（表示なし）	現在のタイトルの再生が終わると、タイトル画面に戻ります。

A-B 間くり返し再生

1 **再生中に【A-B リピート】ボタンを押します。**

A-B 間くり返し再生の始点が設定され、「A」と画面に表示されます。再生はそのまま進みます。

2 **もう一度【A-B リピート】ボタンを押します。**

A-B 間くり返し再生の終点が設定されて「AB」と画面に表示されます。
再生は手順 1 で設定した始点に戻り、終点までの間をくり返して再生します。

3 **終了するには「A-B 間くり返し」再生中に【A-B リピート】ボタンを押します。**

始点と終点の設定が解除され、通常再生に戻ります。

アングルの切り換え

再生中に【アングル】ボタンを押します。

映像のアングルが切り換わります。

- 【アングル】ボタンを押すと、切り換えができるアングルの数と、再生しているアングルの番号が表示されます。
- アングル切り換えに対応していない DVD では、操作は無効となります。アングル切り換えに対応している DVD の場合は、パッケージの表示で確認できます。

ズームの切り換え

再生中に【ズーム】ボタンを押します。

押すたび画面の表示倍率が切り換わり、現在の倍率が画面に表示されます。

2X → 3X → 4X → 1/2 → 1/3 → 1/4

拡大サイズ（2 倍、3 倍、4 倍）で再生中に方向ボタンを押すと、画像の表示範囲を移動させることができます。

再生情報の表示

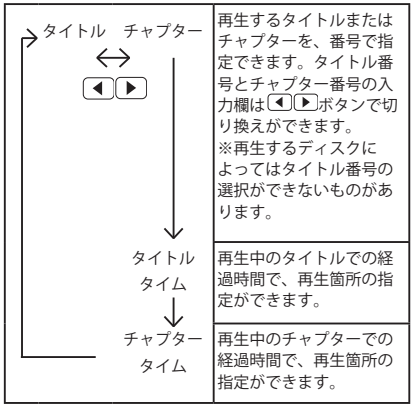
再生中に【表示】ボタンを押します。

再生中のディスクの再生状況が表示されます。
再生中のタイトル番号、チャプター番号および再生時間が表示されます。
【表示】ボタンを押すたびに、再生時間表示は次のように切り換わります。

タイトル経過時間	再生中のタイトルでの経過時間を示します。
↓	
タイトル残り時間	再生中のタイトルでの残り時間を示します。
↓	
チャプター経過時間	再生中のチャプターでの経過時間を示します。
↓	
チャプター残り時間	再生中のチャプターでの残り時間を示します。
↓	
表示オフ	再生情報を表示しません。

場面を時間で指定して再生

1 **再生中に【GOTO】ボタンを押します。**
タイトル / チャプターの入力行が画面に表示されます。
【GOTO】ボタンを押すたびに、入力行の表示は次のように切り換わります。



2 **リモコンの数字ボタンを使って、タイトル番号、チャプター番号、タイトル経過時間またはチャプター経過時間を指定します。**
※再生するディスクによってはタイトル番号の選択ができないものがあります。

3 **指定した場面から再生が始まります。**

プログラム再生

1 **再生中に【プログラム】ボタンを押します。**
プログラム再生ウインドウが画面に表示されます。

2 **方向ボタンおよびリモコンの数字ボタンを使って、タイトル番号とチャプター番号を入力します。**

3 **方向ボタンを使って [START] を選択し、【決定】ボタンを押します。**
一番に指定したチャプターからプログラムの順に再生が始まります。

・デジタル放送を録画したディスクのプログラム再生はできません。
・２０番目までプログラム再生の設定ができます。

プログラム再生の解除

1 **【プログラム】ボタンを押して「プログラム再生ウインドウ」を表示します。**

2 **方向ボタンを使って [STOP] を選択し【決定】ボタンを押して設定内容を削除します。**

3 **[終了] を選択し【決定】ボタンを押します。**
現在のシーンから通常の再生が続きます。

・設定内容を削除せずに [終了] を選択すると、再びプログラム再生に戻ります。

CD の操作

トラックのスキップ

再生中に【次へ】ボタンを押します。
次のトラックに移動します。

再生中に【前へ】ボタンを押します。
前のトラックに移動します。

トラック番号を指定して再生

再生中に、リモコンの数字ボタンを使って移動したいトラック番号を指定します。
選択したトラックから再生が始まります。

ポイント
- 「11」以上のチャプター番号を指定したい場合は、【10+】ボタンを使います。
- 入力例：
  「14」を選ぶ場合→【10+】【4】と押します。
  「24」を選ぶ場合→【10+】【10+】【4】と押します。
  「20」を選ぶ場合→【10+】【10+】【0/10】と押します。
- 再生中の DVD にないチャプター番号を指定した場合は、操作が無効となります。

時間 / トラックを指定して再生

1 **再生中に【GOTO】ボタンを押します。**
ディスクサーチの経過時間の入力画面が表示されます。
【GOTO】ボタンを押すたびに、入力画面の表示は次のように切り換わります。

ディスク時間　ディスク全体での経過時間で、再生箇所の指定ができます。
↓
トラック時間　再生中のトラックでの経過時間で、再生箇所の指定ができます。
↓
トラック選択　トラック番号の指定ができます。

2 **リモコンの数字ボタンを使って「ディスク経過時間」「トラック経過時間」「トラック番号」を指定します。**

3 **指定した経過時間またはトラックから再生が始まります。**

くり返し再生

再生中に【リピート】ボタンを押します。
くり返し再生の方法が切り換わり、現在の状態が画面に表示されます。【リピート】ボタンを押すたびに、表示は次のように切り換わります。

トラック　現在のトラック（曲）をくり返して再生します。
↓
オール　すべての曲をくり返して再生します。
↓
オフ（表示なし）　現在のトラック（曲）の再生が終わると停止します。

A-B 間くり返し再生

1 **再生中に【A-B リピート】ボタンを押します。**
A-B 間くり返し再生の始点が設定され、「A」と画面に表示されます。再生はそのまま進みます。

2 **もう一度【A-B リピート】ボタンを押します。**
A-B 間くり返し再生の終点が設定されて「AB」と画面に表示されます。
再生は手順 1 で設定した始点に戻り、終点までの間をくり返して再生します。

3 **終了するには「A-B 間くり返し」再生中に【A-B リピート】ボタンを押します。**
始点と終点の設定が解除され、通常再生に戻ります。

再生情報の表示

再生中に【表示】ボタンを押します。
再生中ディスクの再生状況とトラックの演奏時間が表示されます。
【表示】ボタンを押すたびに、演奏時間表示は次のように切り換わります。

シングル経過時間　再生中のトラックの経過演奏時間を示します。
↓
シングル残り時間　再生中のトラックの残り演奏時間を示します。
↓
トータル経過時間　再生中の CD の経過演奏時間を示します。
↓
トータル残り時間　再生中の CD の残り演奏時間を示します。

プログラム再生

1 **再生中に【プログラム】ボタンを押します。**
プログラム再生ウインドウが画面に表示されます。

2 **方向ボタンまたは数字ボタンを使って、トラック番号を入力します。**

3 **方向ボタンを使って [START] を選択し、【決定】ボタンを押します。**
一番に指定したトラックからプログラムの順に再生が始まります。

プログラム再生の解除

1 **【プログラム】ボタンを押して「プログラム再生ウインドウ」を表示します。**

2 **方向ボタンを使って [STOP] を選択し、【決定】ボタンを押して設定内容を削除します。**

3 **[終了] を選択し【決定】ボタンを押します。**
現在のトラックから通常の再生が続きます。
※設定内容を削除せずに [終了] を選択すると、再びプログラム再生に戻ります。

CD を録音する

※ 注意：録音に使用する外部メディアに重要なデータがある場合には、必ずバックアップ保存をしてから録音をしてください。

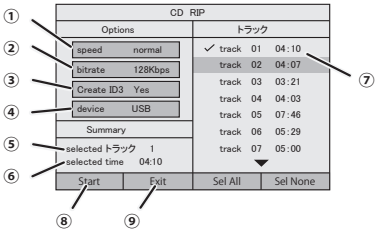
- USB/SD に空き容量が無い場合は「Device full !」と表示されて録音できません。
- 本製品では外部メディアに記録されているデータを削除することはできません。
- 「CD RIP」画面が表示されていると音量調整ができません。
- 音量が0や消音状態で録音をしても、再生時の音質や音量に影響ありません。
- 録音中に音量調整はできません。「CD RIP」画面を表示する前に音量を調整しておいてください。
- 本製品では録音を行うと、ファイル形式は MP3 で記録されます。
- 容量の大きい外部メディアを接続すると、読み込みに時間がかかる場合があります。
- 本製品ではフォルダー名やファイル名の入力はできません。
- 本製品では MP3 や WMA などのファイル形式のディスクからの録音はできません。市販の CD からのみ録音ができます。

CD を USB/SD へ録音

1 本体の電源を入れ、外部メディアを本体のスロットに差し込みます。

2 CD ディスクが挿入されている時に【字幕切換】ボタンを押すと「CD RIP」画面が表示されます（下図参照）

CD録音（CD RIP：リッピング）画面



① speed 【決定】ボタンを押すたびに録音（リッピング）速度を切り換えることができます。
　normal 通常速度：音楽を聞きながら録音します。
　fast 倍速：音楽は聞こえませんが録音時間が短縮されます。

② bitrate 【決定】ボタンを押すたびにビットレートを変更できます。
　ビットレートの数値が大きいほど高音質ですが、録音後のファイルサイズが大きくなります。

③ Create ID3 TAG 式ファイルを作成するかどうかの設定ができます。

④ device 録音先を USB または SD へ設定します。

⑤ selected トラック 選択した曲数を表示します。

⑥ selected time 選択した曲の合計再生時間を表示します。

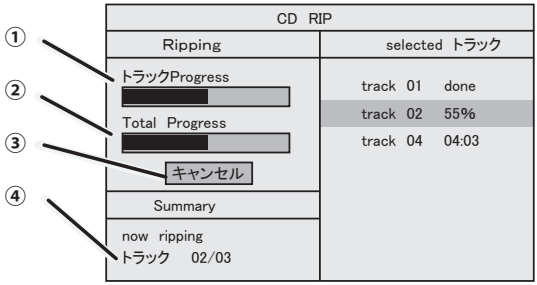
⑦ CD に収録されているトラックリスト（曲数リスト）を表示します。
録音したい曲にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押すと、左に「チェックマーク」が表示されます。
すべての曲を選択する場合は「Sel All」、すべての選択を取り消すには「Sel None」にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押してください。

⑧ Start 録音したい曲を選択している場合にリッピングを開始します。

⑨ Exit リッピング画面を終了して CD 再生画面に戻ります。

3 「Start」を選択して【決定】ボタンを押してください。録音を開始します。

録音中



① 現在録音している曲数（トラックナンバー）を表示します。
② 曲（トラック）ごとの録音進捗状況を表示します。
③ 録音する総時間合計の録音進捗状況を表示します。
④ 選択した曲（トラック）数と、現在録音した曲（トラック）数を表示します。

録音された曲（トラック）は「CDA_RIP」フォルダに保存されます。
ファイル名は「TRACK001」「TRACK002」… というように順番に番号が増えるようにファイル名を割り当てられて、記録 / 保存されます。

注意：すでに同じ曲が収録されていても、録音操作を行うたびに「新しい曲（トラック）」として新しいファイル名で録音 / 保存されます。
記録可能なフォーマットは FAT または FAT32 です。
記録するメディアが記録可能なフォーマットでは無い場合は記録できません。
動作が上記の画面で一時停止しますので、リッピングが0%のまま進行しない場合は記録メディアのフォーマットを確認してください。

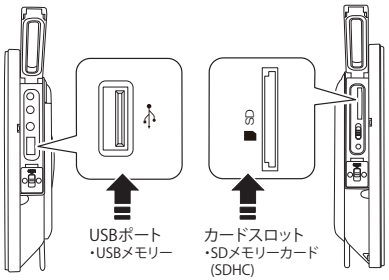
録音が終わると「CD RIP」画面に戻ります。
CD の録音を終了するには「Exit」にカーソルを合わせて【決定】ボタンを押してください。

外部メディアを再生する

本製品では、外部メディア「SD（SDHC）メモリーカード」「USB メモリー」に保存したデータを再生できます。※ DVD 再生画面でのみ外部メディアへ切り換えることができます。

外部メディアの再生

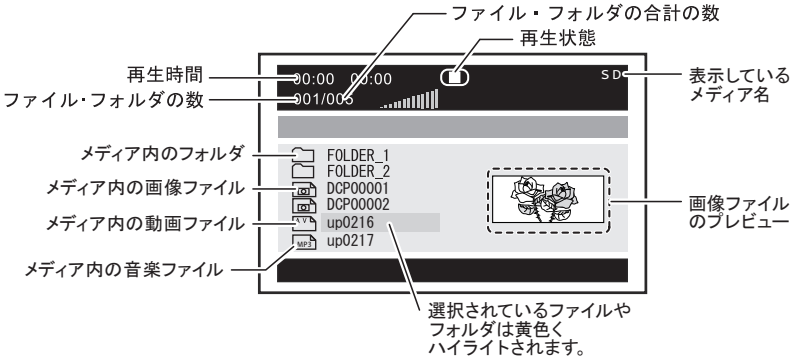
1 **本体の電源を入れ、外部メディアを本体のスロットに差し込みます。**



2 **【DVD/CARD/USB】ボタンを押すとメディアが切り換わります。**

SD カードが優先して表示されます。
USB を再生する場合は SD カードが差し込まれていないことを確認してください。

3 **画面に外部メディア内の「フォルダ名」と「ファイル名」が表示されます。**



- 方向ボタンで再生したいファイルを選択し【決定】ボタンを押します。
- 音楽ファイル（MP3）、動画ファイル（MPEG4）を再生した場合は［早送り］［巻き戻し］［一時停止］の操作が可能です。
- 画像ファイル（JPEG）を再生した場合はスライドショーが始まります。
- スライドショー中に【PBC/MENU】ボタンを押すと、上記の「ファイル一覧画面」に戻ります。
- ファイル名は半角17文字まで表示します。
- ファイル名を半角英数字以外の文字で記録すると、違う文字で表示されることがあります。
- ファイル名を半角で設定しても、記録した機器との相性により正常に表示されない場合があります。
- 使用する外部メディアのフォーマットは、FAT または FAT32 で行ってください。

外部メディアの取り外し

1 【停止】ボタンを押して、再生を停止します。

2 【モード切換】ボタンを押して DVD を選択します。
外部メディアが使用されていないことを確認して取り外します。

※ 本製品が対応できるメモリーカード、USB メモリーの最大容量は 8GB までです。

※ 以下のメモリーカードは別途市販のアダプターが必要です。

・mini SD ・micro SD

※ SD カードや USB メモリーを再生中に抜き差しをしないでください。
収録されているデータが破損する可能性があります。
DVD などのディスクの再生にも悪い影響が表れる可能性があります。

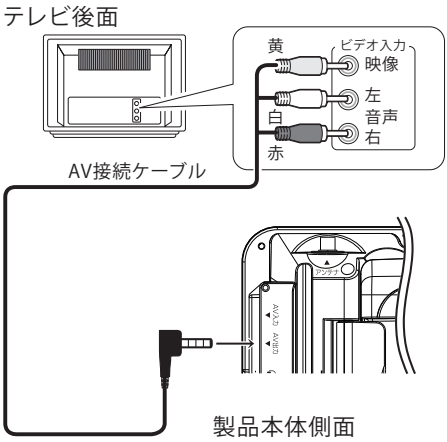
他の AV 機器と接続する

他の AV 機器に出力する

本製品で再生中の映像・音楽をテレビなど他の AV 機器で出力することができます。

1 **本体側面の【AV 出力】端子に、付属の AV 接続ケーブルのプラグ（黒）を差し込みます。**

2 **接続したい AV 機器のビデオ入力端子に映像（黄）と音声（白、赤）のケーブルを差し込みます。**



※接続した AV 機器の音量調整については、ポータブルＤＶＤプレーヤーでも行えますが、接続した AV 機器でも音量調整をおこなってください。
本体の音量を0にすると AV 機器への音声出力も0になりますのでご注意ください。

※イヤホン端子からヘッドホンや外部機器（スピーカー等）へ接続した場合に、音量が小さい状況だとノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、仕様になりますのでご了承ください。

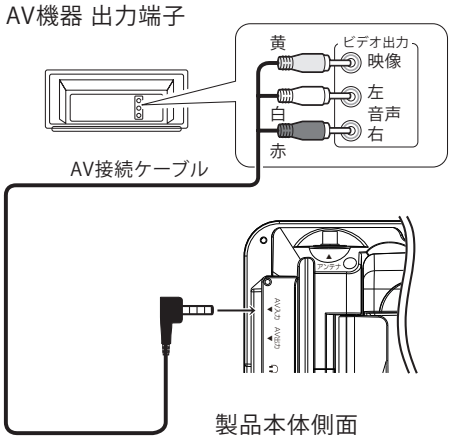
他の AV 機器から入力する

他の AV 機器の映像・音楽を本製品で表示 / 出力することができます。

1 **本体側面の【AV 入力】端子に、付属の AV 接続ケーブルのプラグ（黒）を差し込みます。**

2 **接続したい AV 機器のビデオ出力端子に映像（黄）と音声（白、赤）のケーブルを差し込みます。**

3 **【機能切換】ボタンまたは、本体の【M】ボタンを押して「AV」の画面へ切り換えてください。**



※接続した AV 機器の音量調整については、ポータブルＤＶＤプレーヤーでも行えますが、接続した AV 機器でも音量調整をおこなってください。
AV 機器の音量を0にすると本体からの音声が聞こえなくなりますのでご注意ください。

※イヤホン端子へイヤホンやヘッドホンを接続した場合に、音量が小さい状況だとノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、仕様になりますのでご了承ください。

※リモコン信号について
他製品のリモコン操作時に、リモコン信号が本製品のリモコン信号に似ている場合は誤作動を起こす場合がありますので確認してからご使用ください。
また、本製品のリモコン操作時に他製品が誤作動しないかどうか確認してください。

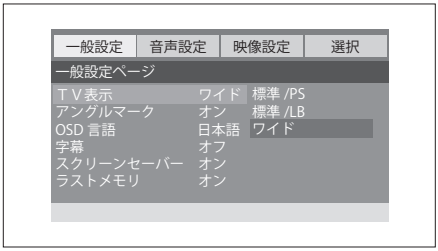
一般設定

一般設定を変更することができます。

1 【設定】ボタンを押して方向ボタン◀▶で「一般設定」を選択し、▼ボタンを押します。

2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。

3 方向ボタン▲▼で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。



4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。

項目	設定	説明
TV 表示	標準 /PS 標準 /LB ワイド	標準 /PS　パンスキャン 4：3 サイズの画面用設定です。ワイド画面の映像は一部分をカットして、画面全体に表示します。 標準 /LB　レターボックス 4：3 サイズの画面用設定です。ワイド画面の映像は上下に黒い帯を表示することで対応します。 16：9　16：9 ワイド画面用の設定です。 ※一部の映像には適用されない場合があります。 ※この設定は AV 出力にも適用されます。
アングルマーク	オン オフ	オンにすると、ディスクがアングル切り換えに対応している場合に画面上にアングルマークのアイコンが表示されます。
OSD 言語	英語 日本語	OSD：OnScreenDisplay 画面表示言語を日本語、英語から選択できます。
字幕	オン オフ	ディスクに収録されている字幕の表示を切り換えます。 ディスクメニューから切り換えることもできます。 ここで切り換えられない場合は他設定を確認してください。
スクリーンセーバー	オン オフ	オンにすると、再生していない状態で約 3 分間操作を行わないとスクリーンセーバーが作動します。
ラストメモリ	オン オフ	オンにすると、ラストメモリが設定され、ディスクを取り出しても次に再生したときに続きから再生されます。また、CD や外部メディアを再生した後に元の DVD ディスクを再生しても有効です。 ラストメモリの設定は次の場合に解除されます。 ・別の DVD ディスクを再生する ・本体、リモコンの停止ボタンを二度押してディスクを完全に停止させたとき

音声設定

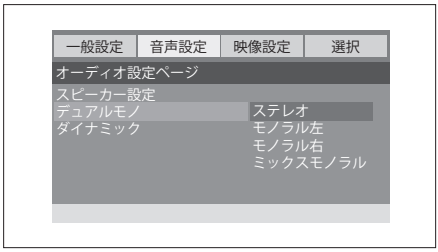
音声の各設定を変更することができます。

1 【設定】ボタンを押して方向ボタン◀▶で「音声設定」を選択し、▼ボタンを押します。

2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。

3 方向ボタン▲▼で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。

4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。



項目	設定	説明
スピーカー設定 ダウンミックス	LT/RT ステレオ	音声のデコード方式を設定します。 お好みで設定してください。
デュアルモノ	ステレオ モノラル左 モノラル右 ミックスモノラル	ステレオ・モノラル左 / 右・ミックスモノラルのいずれかから選択できます。 お好みで設定してください。
ダイナミック	FULL ～ OFF	音声の出力特性を 9 段階で設定します。

※ DVD/CD ディスク、SD/USB 再生画面で設定ができます。
※ 変更が適用されないディスクもあります。
※ 調整が微少で変化がわからない場合があります。

映像設定

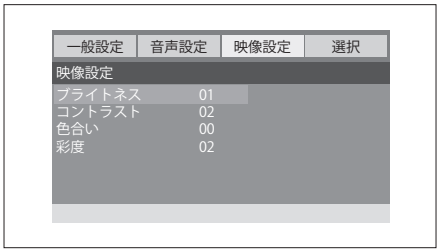
画質の各設定を変更することができます。

1 【設定】ボタンを押して方向ボタン◀▶で「映像設定」「カラー設定」を選択し、▼ボタンを押します。

2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。

3 方向ボタン▲▼◀▶で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。

4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。



項目	設定・調整範囲	説明
ブライトネス	-20 ～ +20	画面の明るさを左記の調整範囲で設定できます。
コントラスト	-16 ～ +16	画面のコントラストを左記の調整範囲で設定できます。
色あい	-9 ～ +9	画面の色あいを左記の調整範囲で設定できます。
彩度	-9 ～ +9	画面の彩度を左記の調整範囲で設定できます。

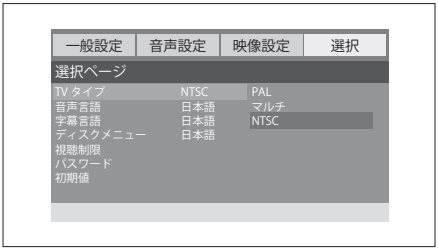
※ DVD/CD ディスク、SD/USB 再生画面で設定ができます。

選択

本製品の基本的な動作設定を変更することができます。

1 停止中に【設定】ボタンを押して、方向ボタン◀▶で「選択」の設定を選択し▼ボタンを押します。

※ この設定項目を選択可能にするには、ディスクやメディアの再生を完全に停止した状態、またはディスクやメディアを本体から取り出した状態で実行してください。



2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。

3 方向ボタン▲▼で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。

4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。

項目	設定	説明
TV タイプ	PAL マルチ NTSC	カラー方式を「PAL」、「マルチ」、「NTSC」から選択できます。 ＊ 日本は NTSC 方式です。
音声言語	英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ロシア語、タイ語、その他	ディスクに複数の音声が記録されている場合は、希望の音声言語を選択できます。 ※ここで設定した各音声が収録されている場合に設定できます。 収録されていない場合は、収録されている言語が設定されます。
字幕言語	英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ロシア語、タイ語、オフ、その他	ディスクに複数の言語が記録されている場合は、希望の字幕言語を選択できます。また、字幕をオフにすることもできます。 ※ここで設定した各字幕が収録されている場合に設定できます。 収録されていない場合は、収録されている言語が設定されます。
ディスクメニュー	英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、韓国語、ロシア語、タイ語、その他	ディスクに複数のメニュー言語が記録されている場合は、希望のメニュー言語を選択できます。 ※ここで設定したメニューが収録されている場合に設定できます。 収録されていない場合は、収録されている言語が設定されます。
視聴制限	1 KID SAFE 2 G 3 PG 4 PG 13 5 PGR 6 R 7 NC 17 8 アダルト	視聴年齢制限を 1 から 8 までのレベルから設定できます。 1　2　3　4　5　6　7　8 制限大　制限小　無制限 ⟷ 変更するにはパスワードが必要です。 ⇒次ページの「パスワード設定」をご覧ください。
パスワード	次のページで説明します。	
初期値	リセット	初期設定（工場出荷時の設定）の状態に戻します。 「視聴制限」など変更時にパスワードが必要な各設定については初期化されませんのでご注意ください。

パスワードの設定

視聴年齢制限設定で必要になるパスワードを設定 / 変更することができます。

パスワードモード

1 【設定】ボタンを押し、方向ボタンで「選択」「パスワード」を選択します。
さらに「パスワードモード」を選択して【決定】ボタンを押してください。

2 パスワードモード・オン：視聴制限を変更する場合にはパスワードが必要になります。
パスワードモード・オフ：視聴制限を変更する場合でもパスワードの入力が必要無くなります。
※パスワードモードを切り換える場合は、設定したパスワードの入力が必要です。

3 【設定】ボタンを押して終了します。

パスワードの変更

1 【設定】ボタンを押し、方向ボタンで「選択」「パスワード」を選択します。
さらに「パスワード」を選択して【決定】ボタンを 2 回押してください。

2 リモコンの数字ボタンで「旧パスワード」（数字 4 桁）を入力します。
初期のパスワードは「8888」です。

3 「新パスワード」に希望の番号（数字 4 桁）を入力します。

4 「PWD 確認」へ確認のためにもう一度「新パスワード」と同じ番号を
入力し、【決定】ボタンを押して確定します。

5 【設定】ボタンを押して終了します。

※初期パスワードはパスワードを変更しても有効です。

ワンセグ

■ワンセグ放送の視聴について

本製品は地上デジタルワンセグチューナーを内蔵しています。地上デジタル放送より画質は劣りますが、放送波を受信できる場所であればどこでも地上デジタルテレビ放送と同じ内容の番組を視聴することができます。

■字幕について

ワンセグ放送は、番組によって字幕情報が含まれているものがあります。
本製品では字幕を表示しながら番組を視聴できます。

■電子番組表（EPG：Electronic Program Guide)

番組視聴中に、その番組や放送予定の番組内容（情報）を確認することができます。

注意

- ワンセグ放送は視聴対応地域でのみ視聴できます。
- 視聴対応地域においても環境などにより受信状況が悪くなったり、視聴できない場合があります。
- 本製品はワンセグ放送が開始されている地域で、電波の届く範囲で視聴できます。ワンセグ放送のエリア内であっても、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所や、電波の弱い場所、トンネル、地下、建物の中などの電波の届かない場所では視聴できないことがあります。
- ワンセグは複数の放送局（中継局）によってサービスされているため、電車や車などで移動しながら受信している場合に異なる受信エリアに入ると、受信チャンネルが変わることがあります。その場合にはチャンネルの再設定が必要です。
- 本製品のチューナーは日本国内のワンセグ放送専用です。ワンセグ以外の放送（BS、CS、地上アナログ放送、衛星デジタル放送など）を視聴することはできません。
- 本製品はデータ放送、緊急警報放送、番組録画、視聴予約には対応していません。
- 電子番組表は視聴している放送局のみ表示します。他放送局の番組表は同時に表示できません。
- ワンセグ放送は移動端末向けの低解像度映像のため、大きな画面では画像が粗くなります。
- 地上デジタル放送、地上アナログ放送と比較すると数秒程度音声や映像が遅れます。
- 時報なども同様に遅れますのでくれぐれもご注意ください。
- ワンセグの受信と、屋上などに設置しているアンテナを使用して視聴するフルセグ地上波デジタル放送では、同一場所であっても受信状態が異なります。また、使用する受信機の性能によっても受信状態は変わります。

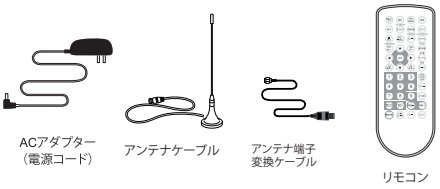
■地上デジタル放送の受信地域について

地上デジタル放送の受信地域と開局予定については、下記 URL からご確認ください。
社団法人地上デジタル放送推進協会　URL http://www.dpa.or.jp

ワンセグ放送を見る

ワンセグ視聴に必要な物

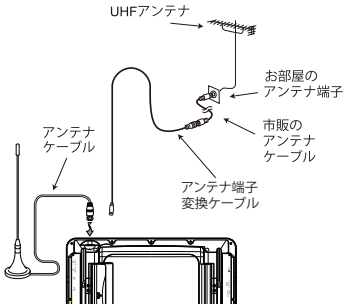
下記のものを用意してください



注意

水まわりでは外部電源（AC アダプター）を接続して使用できません。
充電を行い、電源端子のある端子カバーをしっかり閉じてからご使用ください。
水まわりでリモコンを使用する場合には、裏の電池カバーがしっかり閉まっていることを確認してください。

アンテナを接続する



アンテナケーブルを本製品のアンテナ端子に接続してください。
使用環境、受信状況に応じてアンテナ端子変換ケーブルを家庭用アンテナケーブルへ接続することで安定した視聴が可能です。

付属品のアンテナケーブルを本体アンテナ端子の保護カバーを取ってから挿し込み、六角ナット部分を回して端子部分へ固定してください。

ワンセグを見る

①本製品の電源を入れてください。
②リモコンの【機能切換】ボタンを押して、画面左上に「 TV 」を表示させてください。
③【GOTO】ボタンを押すと『自動チャンネルスキャン』が始まります。
④『自動チャンネルスキャン』が終ると、受信できた放送番組を視聴できます。
【CH-】【CH+】ボタンや上 / 下方向ボタンでチャンネルを順次選局できます。
【TV LIST】（プログラム）ボタンで「チャンネルリスト」を表示して選局することもできます。

※『自動チャンネルスキャン』で受信可能なチャンネルが見つからない場合は、アンテナの位置や向きを変えて、再度『自動チャンネルスキャン』を行ってください。
※「チャンネルリスト」からチャンネルを選局する場合に、【決定】ボタンを押してから放送局が切り換わるまでに約5秒ほどかかる場合があります。
※受信状況によっては、同じ放送局が複数受信する場合があります。この場合は受信状態の良い放送局を選んで視聴してください。
※「チャンネルリスト」を表示したときに放送局名が長い場合は枠の中に納まらず、放送局名をすべて表示できないことがありますのでご了承ください。
※ワンセグ視聴時に設定した音量については、ＤＶＤの視聴等へ切り換えた場合に音量設定が変更される場合がありますのでご了承ください。

ワンセグ設定メニュー

ワンセグ視聴中に各設定を変更することができます。

1 【設定】ボタンを押します。

2 方向ボタン▲▼で変更したい項目を選択して▶を押します。

3 方向ボタン▲▼◀▶で設定を選択して【決定】ボタンで決定します。

4 設定変更が完了したら【設定】ボタンを押して終了します。

項目	設定・調整範囲	説明
主設定	自動検索 手動検索 初期化	自動 / 手動検索：アンテナを接続している場合に、視聴できるチャンネルを検索します。 初期化：各設定を工場出荷時の状態に初期化します。
システム状態	H/W、S/W、DATE	本製品のハードウェア、ソフトウェアの情報を表示します。
チャンネルリスト	チャンネル編集	検索したチャンネルについて、【CH+】【CH-】ボタンで選択するかどうかの「スキップ設定」をすることができます。 スキップ設定をしたいチャンネルを上下方向ボタンで選択して、右ボタンを押すと「ロックアイコン」が表示されてスキップ設定されます。左ボタンを押すとスキップが解除されます。
プリファランス 言語設定	英語 日本語	設定メニューの言語を「英語」または「日本語」に設定することができます。
プリファランス A/V 制御	●テレビタイプ ●音声設定 ●画面比率 ●明度 ●画面位置	●テレビタイプ：日本で視聴するためには、テレビタイプを「NTSC」に設定してください。 ●音声設定：音声多重放送時に「主音声」「副音声」「主音声 + 副音声」へ音声を切り換えます。 ●画面比率：画面の比率を「Normal」「Cinema」「Zoom」からお好みで設定してください。 ●明度：画面の明るさを 30 ～ 80%から設定してください。 ●画面位置：画面の左右の表示を -4（左寄）～2（右寄）から設定してください。
プリファランス その他の設定	表示時間	OSD（設定メニュー）の表示時間を約 1 ～ 20 秒の間で設定します。
	透明度	OSD(設定メニュー)の透過率を 0 ～ 75%の間で設定します。

※ 1 つ前の項目へ戻る場合は【停止】ボタンを押してください。

こまったときは

故障かな?と思ったときは、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、一度本製品本体の電源スイッチを OFF にしてから、再度起動してみてください。
それでも正常に作動しない場合は、弊社サポートセンターにご連絡ください。
（各項目の詳細は、この説明書の対応する項をお読みください）

症状	考えられる原因・確認事項
製品本体が作動しない	製品本体の主電源は入っていますか? 充電池に充電されていますか? 製品本体の電源 LED が青色に点灯していない場合は下記の項目をご確認ください。 ・製品本体の電源スイッチが ON であること ・電源が正しく接続されていること
ディスクが再生できない	ディスクに傷や汚れがないことをご確認ください。
	ディスクのリージョンコードが本製品と合っていない可能性があります。リージョンコードの合わないディスクは再生することができません。
	ディスクの表裏を逆にセットしていませんか? 印刷のある面が上になるようにディスクトレイにセットしてください。
	視聴制限機能が作動している可能性があります。ディスクの視聴制限の有無と、本製品の設定をご確認ください。
	本製品を寒い場所から急に暖かい、または湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。 電源コードを抜いて、本製品の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか? 本製品の動作保証温度は 5 ～ 40℃、水温 5 ～ 35℃です。
	DVD ± R/RW/ ± R DL ディスクの場合は、ディスクに「ファイナライズ」という処理を行わないと再生できません。ファイナライズの行い方については、ディスクに録画を行った DVD レコーダーやパソコンなどの取扱説明書をご確認ください。
	ディスク固有の問題の可能性があります。他のディスクが再生できるか試してみてください。

※ 作成したディスク（CPRM 記録ディスクなど）を再生すると、当製品との相性により基本的な操作が正常に機能しない場合があります。

症状	考えられる原因・確認事項
本製品がリモコンの操作に反応しない	画面に ⊘ のアイコンが表示される場合は、無効な操作をしているか本製品がビジー状態になっている可能性があります。
	リモコンの電池が切れていませんか？ 新しい電池に交換してみてください。
	リモコンの発信部と本体リモコン受光部の間に信号を遮るものがないよう注意してください。
	製品本体の主電源は入っていますか？ 製品本体の電源 LED が青色に点灯していない場合は下記の項目をご確認ください。 ・製品本体の電源スイッチが ON であること ・電源が正しく接続されていること ・内蔵充電池に充電されていること
	製品本体前面の受光部が直射日光や強い光にさらされていると、リモコンがうまく作動しない場合があります。光があたらないようにするか、リモコンの角度を変えたり、受光部に近づいて操作してください。
画像・音声が乱れる、出ない	製品本体の主電源は入っていますか？
	ディスクに傷や汚れがないことをご確認ください。
	ディスクは正しくセットされていますか？
	本製品の設定が正しく行われていることをご確認ください。
	テレビシステム（PAL / NTSC）は正しく設定されていますか？ 日本は NTSC 方式です。
	電波を発生する機器の近くで使用していませんか？
	本製品を寒い場所から急に暖かい、または湿気のある場所に移動すると、内部に結露が生じる可能性があります。電源を抜いて、本製品の温度が室温と同じになり結露した水分が蒸発するまで、しばらく使用しないでください。
	温度が高い所や低い所で使用していませんか？ 本製品の動作保証温度は 5 ～ 40℃、水温 5 ～ 35℃です。
	消音になっていないかご確認ください。 （リモコンの消音ボタンを押してみてください）

症状	考えられる原因・確認事項
画像・音声が乱れる、出ない（つづき）	音量がゼロになっていないかご確認ください。
アングル切り換えができない	再生しているディスクに、複数のアングルが記録されていない可能性があります。
音声の切り換えができない	再生しているディスクに、複数の音声が記録されていない可能性があります。
字幕の切り換えができない・消せない	再生しているディスクに、複数の字幕が記録されていない可能性があります。
テレビ・AV 機器接続時に画像・音声が乱れる・出ない	本製品の出力端子と、接続している機器の入力端子が正しく接続されていることをご確認ください。
	テレビのチャンネルは本製品からの入力に合っていますか？テレビの取扱説明書をご確認ください。 （多くのテレビではビデオ 1/2、AUX In、Video In、A/V In などのチャンネル・入力切換がビデオ入力です）
	本製品やテレビの画面や信号に関する設定をご確認ください。
	ケーブルにゆるみなどがないことをご確認ください。
	本製品に付属している AV ケーブル以外を使用すると、音声や画像が正常に入 / 出力されない場合があります。
4：3PS 表示ができない・切り換えができない	4：3PS（パンスキャン）はディスクに 4：3PS サイズで収録されている映像を表示するための機能です。16：9 サイズの画像を強制的に PS 表示（画面の左右をカットなど）にしてしまう機能ではありません。ディスクのパッケージに PS（パンスキャン）表記があるかご確認ください。 本製品では 4：3PS/LB を標準 PS/LB、16：9 をワイドと表示しています。
お風呂でディスクが再生できない	製品の内部で結露が生じている可能性があります。 水分や湿気の無いところでディスクカバーを開けて結露が無いことを確認してから使用してください。 ディスクカバーを開ける際には、製品に水分がついていると内部に浸入して故障の原因になりますのでご注意ください。
製品についている水分をしっかり拭いたのに、水が滴ってしまい周囲が濡れる	スピーカー部分や製品の溝に水が浸透してしまっている場合があります。溝などをしっかりと拭いていただき、乾燥したことを確かめてから使用してください。

ワンセグが視聴できない

症状	考えられる原因・確認事項
ワンセグの画面が出ない	ワンセグ視聴画面に切り換えましたか？ 【機能切換】ボタンや【M】ボタンを押してワンセグに切り換えてください。
	ワンセグへ切り換えてから約5秒ほど画面が表示されない場合があります。
	自動チャンネルスキャンを実行しましたか？
	受信感度が低くて視聴できない場合は下記をお試しください。 ・本製品とアンテナケーブルを窓際で使用する。 ・アンテナケーブルのアンテナを受信しやすい所へ移動する。 ・アンテナケーブルを鉄製品へ装着する。 ※磁石を使用しているので注意してください。
	自動チャンネルスキャンを行うと、同一チャンネルへ複数の放送局が割り当てられる場合があります。放送局名も一緒の場合があり、ワンセグの視聴ができないと考えてしまうことがあります。 「チャンネルリスト」を確認していただき、同名・複数のチャンネルがある場合には、各放送局を確認していただき、視聴状況の良いチャンネルでワンセグをお楽しみください。
ワンセグが見れない	ワンセグ放送の受信可能地域かどうか確認してください。
	自動チャンネルスキャンを実行しましたか？
	アンテナは接続していますか？
	本製品はケーブルテレビには対応していません。
ワンセグ画面が一時停止する ノイズなどで正常な視聴ができない	ワンセグ受信状況が悪い場合、本製品に付属しているアンテナケーブルでは受信できない場合があります。その場合には、お部屋にあるアンテナ端子と本製品のアンテナ端子をアンテナ変換ケーブルを使用して接続して視聴してください。
	受信感度が低くて視聴できない場合は下記をお試しください。 ・本製品とアンテナケーブルを窓際で使用する。 ・アンテナケーブルのアンテナを受信しやすい所へ移動する。 ・アンテナケーブルを鉄製品へ装着する。 ※磁石を使用しているので注意してください。
音が聞こえない	音量が0や消音になっていませんか？
外部機器に接続したときにワンセグが映らない	ワンセグ放送は AV コードを接続しても一部の外部機器では視聴することができません。

仕様

仕様概要	
ディスプレイ	9 インチワイド液晶
アスペクト比	16：9、4：3
解像度	800（W）× 480（H）
対応メディア	DVD-ROM / ± R/ ± RW/ ± R DL、CD-ROM /R/RW、 SD（SDHC）カード、USB メモリー（最大8GB まで対応）
対応フォーマット	DVD-Video、DVD-VR/CPRM、MPEG4、MP3、JPEG、CD-DA
信号方式	NTSC/PAL
出力端子	イヤホン出力× 1、AV 出力×1
入力端子	DC 電源入力× 1、AV 入力×1
カードスロット	SD（SDHC）カード対応×1　最大 8GB まで対応
USB ポート	USB メモリー対応×1　最大 8GB まで対応
電源	AC アダプター　入力：AC100V 50/60Hz　出力：DC12V 1.5A
充電池	リチウムポリマー充電池　7.4V 1500mAh
消費電力	12W
動作保証温度	5℃～ 40℃
本体サイズ	約 263 ×約 181 ×約 44mm
本体重量	約 1055 g　（充電池含む）
防水レベル	IPX6 級耐水相当

付属品	リモコン、リモコン用コイン形電池×1、電池フタ外し用 専用道具、 AC アダプター、アンテナケーブル、アンテナ端子変換ケーブル、 AV ケーブル、吸盤フック×2、補助シール×2、取扱説明書、保証書

※この製品は日本国内専用です。
※リモコン用 CR2025 コイン形電池は動作確認用です。
※充電池への充電時間：約 5 時間　　再生時間：DVD 再生 約 2 時間
　再生時間は使用状況や環境により異なります。
※吸盤フックは本製品専用です。他で使用しないでください。

株式会社 ティー・エム・ワイ
サポートセンター
お客様相談窓口：
ナビダイヤル®
0570-064-440
受付時間 10:00～18:00（当社休業日を除く平日）

WDV-90SW-01